

報告書

2017タイ遠征

Thailand Junior & Cadet Open

ITTF GLOBAL JUNIOR CIRCUIT PREMIUM EVENT

2017. 5/8～5/15



主催 (公財) 全国高等学校体育連盟卓球専門部

大会スナップ





平成29年度全国高体連卓球専門部海外遠征 [タイジュニアオープン]

1. 大会名 2017タイジュニアオープン大会
2. 大会期日 平成29年5月8日(月)～ 5月15日(月)
 *集合 5月8日(月) 9時30分 「関西空港国際線出発カウンター」 集合
 5月9日(日)前泊(希望者のみ)
 「関西エアポートワシントンホテル」
 〒598-8522 大阪府泉佐野市りんくう往来北1-7 Tel 072-461-2222
 *解散 5月15日(月) 7時 「関西空港」到着後
3. 会場 「Fashion Island, Island Hall3rd Floor」
 587, 589, 589/7-9 Ramintra Rd.
 Kannayao, Bangkok, Thailand 10230
 Tel +662 947-5000
4. 宿泊先 「The Grand Four Wings Convention Hotel」
 333 Srinakarin Road, Huamark, Bangkok, Bangkok 10240
 Tel +662 378 8000

5. 日程

1	5/8(月)	9:30 11:45 15:35	集合「関西空港」、結団式 関西空港発 TG-623 便 バンコク空港着
2	5/9(火)	10:20 11:45	練習
3 ～ 7	5/10(水) ～ 14(日)	23:30	大会 種目 団体・シングルス バンコク空港発 TG-622 便
8	5/15(月)	7:00	関西空港着 解団式 解散

6. 役員・選手名簿

役職	氏名	所属	備考
団長 男子監督 女子監督	塚田 博文 植木 大 岸 昌宏	長野工業高等学校 遊学館高等学校 横浜隼人高等学校	
男子選手	沼村 斉弥 蛭田 龍 五十嵐史弥 西村 星哉	野田学園高等学校 希望が丘高等学校 遊学館高等学校 浜松修学舎高等学校	
女子選手	木村 香純 井 絢乃 笹尾明日香 木村 光歩	四天王寺高等学校 明德義塾高等学校 横浜隼人高等学校 山陽女子高等学校	

平成29年度全国高体連卓球専門部海外遠征結果

ITTF Golden Series Junior Circuit
★SET 2017タイジュニア&カデットオープン★
(2017.5.8-15、バンコク)

男子団体	優 勝				
女子団体	優 勝				
男子シングルス	五十嵐史弥	優勝	西村星哉	3位	
女子シングルス	木村光歩	優勝	木村香純	2位	笹尾明日香 3位 井 絢乃 3位

○男子団体 予選リーグ (グループ1位通過)

予選①	日 本	3 - 2	チャイニーズタイペイA
予選②	日 本	3 - 0	マレーシア

決勝トーナメント

●準々決勝	日 本	3 - 0	インドB
●準決勝	日 本	3 - 0	インドA
●決 勝	日 本	3 - 0	チャイニーズタイペイA

○女子団体 予選リーグ (グループ1位通過)

予選①	日 本	3 - 0	タイA
予選②	日 本	3 - 0	インド

決勝トーナメント

●準決勝	日 本	3 - 0	マレーシア/シンガポール混成チーム
●決 勝	日 本	3 - 0	チャイニーズタイペイ

○男子シングルス 予選リーグ

予選①	五十嵐史弥	3 - 0	PIMRAT Thirawat (タイ)
予選②	(1位通過)	3 - 1	JAIN Payas (インド)
予選③		3 - 0	YIU Kwan To (中国香港)
予選①	沼村斉弥	3 - 0	WONG Hon Lam (中国香港)
予選②	(1位通過)	3 - 0	SUNG Chang-Ting (チャイニーズタイペイ)
予選③		3 - 1	CHANDRA Jeet (インド)
予選①	西村星哉	3 - 2	VERAKULTAWAN Purit (タイ)
予選②	(1位通過)	3 - 2	HUANG Yu-Jen (チャイニーズタイペイ)
予選③		3 - 2	CHENG Pak Hei (中国香港)
予選①	蛭田龍	2 - 3	BEH Kun Ting (シンガポール)
予選②	(2位通過)	3 - 1	SURAVAJJULA Snehit (タイ)
予選③		3 - 0	PUTHIKUNGASERN Veerapat (タイ)

決勝トーナメント

1回戦	西村星哉	4 - 1	SURAVAJJULA Snehit (タイ)
1回戦	沼村斉弥	4 - 1	PENG Chih (チャイニーズタイペイ)
1回戦	五十嵐史弥	4 - 3	WANG Guan-Ru (チャイニーズタイペイ)
1回戦	蛭田龍	4 - 0	LIN Yen-Chun (チャイニーズタイペイ)
2回戦	西村星哉	4 - 3	馮翊新 (チャイニーズタイペイ)
2回戦	沼村斉弥	3 - 4	YU Zong Jun Gerald (シンガポール)
2回戦	五十嵐史弥	4 - 0	SHOTELERSUK Varote (タイ)
2回戦	蛭田龍	4 - 1	VERAKULTAWAN Purit (タイ)
●準々決勝	西村星哉	4 - 1	PASSARA Pattaratorn (タイ)
	五十嵐史弥	4 - 0	戴茗葦 (チャイニーズタイペイ)
	蛭田龍	3 - 4	黎昕陽 (チャイニーズタイペイ)
●準決勝	西村星哉	0 - 4	THAKKAR Manav Vikash (インド)
	五十嵐史弥	4 - 3	黎昕陽 (チャイニーズタイペイ)
●決勝	五十嵐史弥	4 - 1	THAKKAR Manav Vikash (インド)

○女子シングルス 予選リーグ

予選①	笹尾明日香	3 - 0	WONG Chin Yau (中国香港)
予選②	(1位通過)	3 - 0	NOVAKOVA Martina (チェコ)
予選①	木村光歩	3 - 1	李嘉宜 (中国香港)
予選②	(1位通過)	3 - 0	KUAN E Xian (マレーシア)
予選①	木村香純	3 - 0	PREMSRI Thitisuda (タイ)
予選②	(1位通過)	3 - 2	WEN Ruei-Ling (チャイニーズタイペイ)
予選③		3 - 0	LEE Hoi Man Karen (チャイニーズタイペイ)
予選①	井絢乃	3 - 1	MEKAMPORN Naja (タイ)
予選②	(1位通過)	3 - 0	GOI Rui Xuan (シンガポール)
予選③		3 - 0	TVEIT MUSKANTOR Leah (スウェーデン)

決勝トーナメント

1回戦	井絢乃	4 - 0	潘逸 (中国香港)
2回戦	井絢乃	4 - 2	SAWETTABUT Jinnipa (タイ)
2回戦	木村光歩	4 - 0	POUNGSRI Cathareeya (タイ)
2回戦	木村香純	4 - 0	李嘉宜 (中国香港)
2回戦	笹尾明日香	4 - 0	PATIL Manushree (インド)
●準々決勝	井絢乃	4 - 0	周穎詩 (中国香港)
	木村光歩	4 - 0	CHIEN Tung-Chuan (チャイニーズタイペイ)
	木村香純	4 - 2	吳詠琳 (中国香港)
	笹尾明日香	4 - 1	WU Jiamuwa (オーストラリア)
●準決勝	井絢乃	3 - 4	木村光歩
	木村香純	4 - 0	笹尾明日香
●決勝	木村光歩	4 - 1	木村香純

2017 タイジュニアサーキットに参加して

団長 長野工業高校 塚田 博文

5月8日～15日までの日程で、タイの首都バンコクで行われました世界ジュニアツアーに、男子監督の植木先生、女子監督の岸先生、男女各4名の選手の計11名で参加させていただきました。今年のメンバーは、海外遠征を何度か経験している選手が半数以上いたため、飛行機の搭乗や現地での生活、試合会場でのアクシデントなども一切なく、全員が試合に集中することができ、無事全日程を終了することができました。また、男女団体アベック優勝、女子は1位から3位まで独占、男子は1位と3位に入賞するなど、日本選手の活躍が光り、外国の選手や監督、メディアからも終始注目を集めていました。要因としては、同世代の選手に、アジア卓球選手権で優勝した平野美宇選手、世界選手権ドイツ大会ダブルスで3位になった伊藤美誠選手、早田ひな選手を始め、男女ともに高いランキングポイントを持っている選手が大勢おり、幼少期より彼らと切磋琢磨しながら強化してきたことと、現在も各母体チームで彼らを意識しながら日々練習に励んでいることが、今回のような結果が生まれたと考えます。

しかし、今回驚いたのは、他国の選手は国際大会を何度も経験し、世界ランキングポイントを持っている選手が多数いましたが、日本選手はほとんどいませんでした。団体、個人ともに、ランキングポイントでシードを決定し、ポイントの低いチームや選手は、フリー抽選となるため、団体は男女ともに第一シードのリーグに入ってしまった。今回の大会には、中国や韓国など強豪国のエントリーがなかったため、予選を勝ち上がり、優勝



することができましたが、ポイントを持って大会に臨めるかどうかは、とても大切なことであることがわかりました。今後は、協会とタイアップし、より多くの選手が国際大会に参戦できるようになれば、選手の意識も上がり、一層日本のレベルが上がると確信しました。

以下に、行程記録をまとめ、報告いたします。

- 5/7 前泊が必要な選手のみ、空港近くの関西エアポートワシントンホテルに集合。
- 5/8 9時に全員が関西空港に集合し、そこで結団式を行う。6時間のフライトで、無事バンコクスパンナム空港に到着し、タクシーで30分移動し、夕方ホテルに到着。
- 5/9 午前、ミーティングとウォーミングアップを行い、午後から会場練習とドロー会議。
- 5/10 団体予選リーグが行われ、男子は台北A、マレーシアと、女子はタイA・インドと同じリーグだったが、共に全勝した。
- 5/11 決勝トーナメント準々決勝から行われ、男女ともに、危ない場面もあったが、監督采配が功を奏し、決勝戦まですべて3-0という快挙を成し遂げた。
- 5/12 男女シングルス予選リーグ。各リーグ2位以上が決勝トーナメント進出のため、全員決勝へ。
- 5/13 決勝トーナメント1回戦からベスト8決定まで。男子3名、女子全員が最終日に残る。
- 5/14 準々決勝から決勝、表彰式が行われ、19時修了。ホテルに戻り、荷物をまとめ空港へ移動。
- 5/15 朝7時、日本に到着。関西空港で解団式を行い、解散。

この遠征に際して（公財）日本卓球協会・各メーカー・高体連卓球専門部、そして、同行していただいた植木先生、岸先生、男女各4選手には、素晴らしい感動を与えていただき感謝申し上げます。

昨年に続いて男子監督として参加させていただきました。タイジュニアは国際大会にしては比較的参加しやすい大会だと思います。まず、ホテルや食事にストレスがないこと、現地のスタッフが気を遣ってくれ、どんなことでも対応してくれることなどです。始めて国際大会に参加する選手にとっては参加しやすい大会だと思います。

試合では、団体戦で予選リーグから第1シードのチャイニーズタイペイと対戦し、3対2で勝つことが出来ました。応援も素晴らしく、チームワークの勝利でした。

その後は順調に勝ち進み、決勝戦にて再びチャイニーズタイペイとの試合になりました。全てが3-2のフルゲームとなりましたが、3対0で勝利することが出来ました。選手は同じ対戦になりながらも、受け身にならず頑張ってくれました。私事ですが、高体連派遣での団体戦優勝は初めてのことでしたので、大変嬉しく選手には感謝したいです。

個人戦においては、団体戦で全勝していた五十嵐君が2度のフルゲームを勝利し優勝することが出来ました。今大会、安定した強さを発揮しました。その他、国際大会初参加の西村君が3位に入賞するなど活躍してくれました。残念ながら、沼村君と蛭田君は3-1リードからの逆転負けをしてしまい入賞にはなりません。タイムテーブルの関係から私がベンチに入れず申し訳ない気持ちでした。4人にはこの経験を生かし、今後のインターハイや各大会での活躍に期待したいです。

昨年も書かせてもらいましたが、タイの会場は湿度が高く、どの国の選手もメンタル的にタフな試合が続きました。選手には日々の練習を大切に、どのような環境や状況でも精神的にぶれない選手に育って欲しいと願います。

最後に、昨年に続きこのような機会をいただいた全国高体連卓球専門部を始め、一緒に帯同していただいた団長の塚田先生、女子監督の岸先生に感謝申し上げます。有難うございました。



初めに、2017 タイジュニアサーキットに参加させていただき、感謝申し上げます。いつもながら出発前から日程終了まで、全国高体連卓球専門部の先生方には数々のご配慮をいただきました。そして、塚田先生、植木先生をはじめ、多くの先生方にそれぞれの場面で数多くのフォローをしていただきました。全国高体連卓球専門部や日本卓球協会をはじめ、関係する皆様のおかげで無事にスケジュールを終了することができました。この場をお借りし、心よりお礼申し上げます。

さて、最初のミーティングで私なりにまとめたポイントを選手に伝えました。

【メッセージ：1】「選ばれてよかった」「参加することに意義がある」だけでは選ばれなかった選手に失礼



【メッセージ：2】日本の高校生としての自覚と責任ある言動

以上のようなことから、挨拶の励行や時間厳守、多くの方々のおかげで大会に参加できるという感謝の気持ちなど高校生として当たり前のことを大切にするよう伝えました。さらに、試合終了後、ベンチの整理整頓やゴミ拾いなどをしてからコートを離れるなど、細かいことも付け加えました。日本代表選手は、マナーについても誇りをもって行うべきだと思っています。その他、試合で勝つための必要事項として、タイムアウトのタイミングやアドバイスの視点、ベンチワークのルーティンなどを各選手と確認して試合に臨みました。ただし、今回は私と海外遠征に同行したことのある選手ばかりであったため、チーム内のベクトルは合わせやすかったと思います。

滞在期間中は、ホテルの環境や試合会場の立地もよく、食事についても大きなトラブルはありませんでした。今後も、初めての海外遠征となる選手にとっては比較的スムーズな流れで試合に入れるのではないのでしょうか。しかし、会場の空調や試合進行の急な変更、ユニフォームチェンジなど、日本の大会ではあまりみられないような対応もいくつかありました。

試合については、以前から海外の選手はループなどからスタートし、パワーを中心としたラリー力で得点していくイメージがありましたが、今回はストップなどの台上技術も向上しているように思えました。一方、日本の選手は多彩なサーブからの3球目やラバーの特質を生かした変化で得点するだけでなく、今回はスピードを中心としたラリーの技術も高かったように思えます。今後は、レシーブからの展開における失点率をおさえるとともに、レシーブによる得点能力の向上も重要だと思います。また、ラリーにおける球質の向上や、どのタイミングからでも自由なコース取りができるような打法のバリエーションも必要だと思います。

最後に、今大会はカデットとホープスの試合も並行して行われおり、多くの試合をみることができました。ヒジャブを着用して試合をする選手や座禅をして試合を待つ選手など文化の違いを感じ取るとともに、卓球というスポーツが世界共通言語であることもあらためて強く認識しました。スポーツは平和と経済が土台にあると思っています。スポーツの魅力を広く伝え、平和と経済の土台が揺るがないようにすることが私たちの役割ではないのでしょうか。これからも選手の競技力向上とあわせてマナーや考え方、スポーツの魅力を伝えられる指導者を目指し、努力し続けたいと思います。

遊学館高校 五十嵐 史弥

今回、タイのジュニアサーキットに参加させていただいて良い経験をたくさんすることができました。湿度が高い環境の中で、自分がやるべきプレーを1試合1試合確認しながら、次の試合に生かしていったのが良かったと思います。今大会の1番の反省は自分が打ちやすいコースに打ってしまうことが多く、相手を崩すプレーが少なかったことです。リードしていても相手に慣れられてしまいギリギリの試合になることがありました。特に格下の選手と対戦する時には、相手をどうやって崩していくかを考えて戦えるようにしたいです。タイでの試合を通して自分の長所や短所がはっきりわかってきたので、これからの練習や試合に生かしてさらにレベルアップしたいです。試合結果は団体、シングルスで優勝することができましたが、さらに高いところを目指して、日本そして世界で活躍できる選手になりたいと思います。



今回のタイジュニアサーキットでは、団体優勝、シングルスベスト 16 という結果に終わりました。団体は優勝することができ嬉しかったのですが、シングルスで優勝することができなくてとても悔しかったです。この遠征で様々な経験ができ、多くの反省点が見つかり、すごく価値のある遠征ができました。

1 番の反省点は、リードした時の気持ちの持ち方です。シングルスの時に 7 ゲームマッチで 3-1 リードから逆転負けをしてしまったのが今大会 1 番悔いの残った試合です。自分はリードすると気が緩んでしまってプレーが雑になることがあるので逆転負けする事が多いです。その気持ちの持ち方をしっかりしていかなければならないと今大会で改めて感じました。

この経験を活かし、反省点を克服して世界で活躍できる選手になりたいと思います。



今回、タイのジュニアサーキットに参加させていただき、本当にいい経験をすることができました。やはり海外では、食事や気候や会場など様々な環境の違いがあり、自分のプレーがなかなか出せないなど、やりづらさを直接感じてみて、世界のトップとの差というのをプレー以上に痛感しました。プレーでは、1 試合目は、周りの空気や日本では感じない迫力などで、全く自分のプレーが出せなくなり、0-3 で負けてしまいました。その後の試合も勝ったものの、納得のいくプレーではありませんでした。しかし次の日の決勝戦では、環境に慣れてきて、また監督とのコミュニケーションなどにより、自分を出していけるようになりました。個人でも結果はベスト 8 という結果に終わってしまいましたが、明確な課題が見えずごく気持ち的に自信に繋がる大会だったと思います。本当にありがとうございました。この経験を生かし、これからもっと活躍していきたいと思います。



今回はこのような貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。外国での試合は初めてで、右も左もわからない中、塚田先生を始め男女監督、選手には迷惑をかけましたが、丁寧に対応してもらい、とても感謝しています。ご飯、ホテルは今までにないくらい良く、とても過ごしやすかったです。また、ぜひタイに行きたいとすごく感じました。試合の方は団体優勝、個人 3 位というとても良い経験をしました。団体の方は出る試合は少なく、しかし、出た試合は全て勝ち、出ない試合は全力でみんなのサポートや応援を頑張りました。チーム全員で勝ち、優勝できたことが一番嬉しかったです。個人戦は初めてでとても緊張しました。思ったより



リラックスをしながらやれ、3位という結果で終わり、とても良い経験をしました。とても課題が残る試合も多く、これからインターハイが始まるので今回のタイ遠征を無駄にならないようにしていきます。今回は本当にありがとうございました。

四天王寺高校 木村 香純

今回、タイジュニアサーキットに参加させていただき団体戦は優勝し、個人戦は2位を獲得することができました。2冠を達成する事が大きな目標だったので自分自身悔しい気持ちでいっぱいですが、それで良い刺激を受ける事ができました。

団体戦では、チーム全体が一丸となって互いに応援し合い、台の前に立った時に気持ち良くプレーすることができました。ベンチコーチに入っていた岸先生や、団体の輪の中に入れてくれた3人の選手にとっても感謝しています。

海外選手とのコミュニケーションでは会話が少しできるようになりました。今回の遠征で精神面やチームの団結力、海外の選手とのコミュニケーション力を少しでも高めることができ、良い経験をさせていただきました。

試合を観たりアドバイスをいただいたりして、今後の自分の卓球のヒントになるものを収穫できたので、母体に戻りこれからインターハイまで厳しい練習に励んで、良い結果に繋がるよう頑張ります。



横浜隼人高校 笹尾 明日香

この度はタイジュニアサーキットに参加し、貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

今大会は自分の甘さが顕著に現れました。自立できていないことが試合にも影響し、目標達成から遥か遠ざかってしまいました。自分を律し、自分で判断し、自分で一から作り上げるということができず卓球も安易で成長の見えないプレーをしてしまいました。自分の生活面や心の自立、成長が無ければこれ以上は上を目指すことが出来ないと思います。今後の人生の為にも、一人で生きていける堅実さと強さを身に付けていくよう心掛けて生活して参ります。その自分で考えた上での失敗は自分を成長させてくれる糧であると肝に銘じて行動します。

準決勝では自分の得意な展開が上手くいかず、焦りから技術や判断のミスが増えてしまいました。様々な場合を想定して冷静に戦わなければならないと感じました。

このように、技術だけでなく人生においてとても大切な事を学ばせていただきました。この経験を忘れず、自分の目標に向かい、多くの人から期待されるような選手となれるよう精進して参ります。

一週間、私たちの為に様々な協力をしていただき本当にありがとうございました。



今回、タイジュニアサーキットに出場させて頂き、たくさんさんの経験をする事ができました。ありがとうございました。

気候は暑く、湿気も多くありました。ホテルも食事の面でもあまり困る事がなく、とても過ごしやすかったです。現地の方もすごく優しく接してくださり、とても有難かったです。

団体戦は昨年も優勝しているので、今年も優勝したいという気持ちを強く持っていました。岸先生の適切なアドバイスや、チームメイトのおかげで全て3-0で勝つ事ができました。個人戦でも日本がベスト4を独占でき、とても良い結果を収める事ができました。海外の選手は両ハンドのパワーがすごく、中陣でドライブをかけてくる選手が多かったです。回転量の多いドライブに対してしっかりブロックできるように練習していきたいです。今大会で見つかった課題を克服し、夏のインターハイで良い成績が残せるように精一杯頑張ります。ありがとうございました。



今回はタイのジュニアサーキットに参加させて頂き、またいろいろな面でのサポートをしてくださり、ありがとうございました。女子団体は二連覇が出来、しかも今年は、男女アベック優勝ができて嬉しかったです。

技術面では、色々な戦型の選手に対して対応出来ることがおそかったです。それと、去年と同じことですが、海外の試合になるとすごく緊張していつもの自分のサーブが出せなくなってしまってミスが増えてしまいました。もっと緊張しても安定した、いいサーブが出せるようにしていきたいです。ラリー戦になったときに自分がループ処理をしたら下がってしまう癖があるので、ループ処理をしても体がとまらずにすぐに攻められる準備ができるように心がけていきたいと思います。

今回のタイ遠征で見つかった自分の卓球のいい点、悪い点をしっかり反省して母体でもっと鍛えていきたいと思います。1週間、自分たちの遠征のためにご協力していただき、ありがとうございました。

